

年長組での生活がスタートして1か月が経とうとしています。新しい環境の中で、初めは不安そうにする子の姿もありましたが、友だちや保育者と一緒に好きな遊びを見つけ楽しみながら、少しずつ環境にも慣れてきたように思います。年長組での子どもたちの姿をお伝えします。



ラキューで手裏剣を作っているお友達がありました。完成した手裏剣を飛ばして遊び始める子どもたち。飛ばしているうちに「点数とか付けて飛ばしたらいいんじゃない?」「そうだね、点数書こう!」と、たくさんの数字を紙に書き、壁に貼り付けて手裏剣飛ばしが始まりました。「やった! 10,000点当たった!」「あそこが一番強いところだよ!」「なら、みんなで勝負しよう!」など、子どもたち同士でたくさんのやりとりをしながら遊びを進める姿がありました。

紙に数字を書き点数を付けたよ



ラキュー手裏剣

遊びが盛り上がってくると、友だちと勝負をしたいという声があったので、保育者が審判になり、当たった点数を紙に書き、誰が一番点数が取れたのかを見て分かるようにしてみました。5回投げた合計点数を競い、勝敗がはっきりと分かると、1位になり大喜ぶ子・負けて少し悔しそうにする子もいましたが、「もう一回しよう」と、繰り返し手裏剣飛ばし対決を楽しんでいました。

↓ラキュー手裏剣から折り紙手裏剣へ



こうしたらいいんじゃない?ああしたら面白そう!など子どもたち同士で考えながら遊びを作り上げていく姿をこれからも大切に見守っていきたいです。

自分たちでスコアを作りました↑



体を動かして遊ぶことが大好きな子どもたち。園庭や遊戯室に出ると、「縄跳びしたい!」「おおなわ跳びたい!」「今日もうんていの練習頑張りたい!」と、上手になりたい・たくさん回数が出るようになりたいなどと、目標を持ち意欲的に頑張る姿があります。上手いかなかったり、友だちと比べて悔しい気持ちになり、泣いてしまう子がいました。でも、悔しいという気持ちから、もっと上手になりたいと思い「明日も頑張ろう!」という意欲に繋がっている姿がありました。

一人一人の、「やってみよう」と意欲的に挑戦しようとする気持ちを大切にしていきたいです。



自分たちの生活やルールを、自分たちで創ろう!

年長組になり、新しい保育室での生活にも慣れ、積極的に行動する姿が多く見られます。掃除や、テーブル拭き、パーティーの準備など、気が付いた時に自らすすんでおこなってくれる姿に頼もしさを感じています。「こっちもおねがい」「こうやったらきれいになるね」「〇〇ちゃん、いつもがんばりやですごいね」などの温かな言葉の交わり合いも多く見られます。年長組での生活作りはもちろん、コロナウイルス感染状況を見ながら、園内で年長組としてできるお手伝いが無いかな、考えていきたいと思っています。

片付け方も、みんなで考えて決めています!

これまで、保育室の玩具は、写真やイラストの貼ってある棚やかごに片付けることが多かったのですが、年長組では、片付け方や玩具の棚の位置なども、話し合いながら決めているところです。

どうやったら使いやすいか、気持ちよく過ごせるか、アイデア出し合い、どんどん行動にうつす姿が見られます。



種類で分けたり、取り出しやすいようにそろえてくれたり…
「せんせい、ここにひきだしがあるといいとおもうんやけど」など、考えを伝えてくれます。

わたしにまかせて!



続きやりたい!



広い保育室になり、空間を活かして大きな段ボールなどで家を作る姿があります。「まだ壊したくないな、続きをやりたくないな」そんな思いも、年長組の仲間に伝え、空間を譲り合い、遊びを残しておく時もあります。

ちょっとしたことではありますが、こんなところも子どもたちで話し合って決めていくことが、「自分たちの生活を創る」ことにつながっていくのではないかと思います。